

科目名	成育看護実習Ⅱ(小児)	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	内 正子、菅野 由美子、原口 梨那		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.子どもを全人的に理解することができる。</li> <li>2.健康逸脱や療養生活が子どもとその家族におよぼす影響を理解することができる。</li> <li>3.子どもが体験している療養生活について理解し、援助できる。</li> <li>4.子どもとその家族に対して看護過程を展開することができる。</li> <li>5.小児医療の中での看護師の役割が理解できる。</li> <li>6.子どもやその家族と援助的人間関係を築くことができる。</li> <li>7.看護職として倫理的に判断・行動するための基本的能力を習得することができる。</li> </ol> <p>[授業概要]</p> <p>小児看護に関する既習の知識・技術を用いて、看護の理論と実践を結び付けて理解できる能力を養う。看護実践の場で、様々な成長発達段階にある子どもの理解、様々な健康状態にある子どもへの看護を学ぶ。</p> <p>具体的には、子どもが入院している施設で2週間の実習を行い、原則1人の子どもを受け持つ。そして、医療施設で療養する子どもを身体的、心理的、社会的側面から全人的に理解する。子どもとその家族との援助的人間関係を築き、関わりを通して、必要な看護を判断し、安全かつ安心できる看護実践能力の基礎を習得する。</p> <p>また、子どもと家族がよりよい療養生活を送るための、社会資源や多職種連携のあり方について学び、それらを通して看護師の役割について理解する。小児看護の経験がある教員が、その経験を活かして、到達目標を達成できるよう実習指導を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>実習先の医療施設の概要について調べておくこと。 実習に必要な知識、技術の復習しておくこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>事前にオリエンテーションを受けて、実習の進め方、留意事項など理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.実習の場は子どもが入院している施設とする。</li> <li>2.病棟の管理者からオリエンテーションを受け、子どもが療養する場としての施設の環境について理解する。(1日目)</li> <li>3.原則として1人の子どもを受け持つ。</li> <li>4.受け持ちとの援助関係を築き、それを発展させる。(1～9日目)</li> <li>5.受け持ちを通して、看護過程を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとその家族から情報を収集し、アセスメントを行う。(1～9日目)</li> <li>・看護目標、看護計画を立案し、看護実践を行う。(2～9日目)</li> <li>・子どもや家族の反応をとらえて、評価を行う。(2～9日目)</li> <li>・実習内容の記録を行う。(1～9日目)</li> </ul> </li> <li>6.チームの一員としての報告・連絡・相談をする。(1～9日目)</li> <li>7.受け持ち以外でも、子どもの看護について、可能な限り見学や、体験をし、看護師の役割を理解する。(6～9日目)</li> <li>8.看護師が多職種と協働している場面に参加する。(6～9日目)</li> <li>9.実習期間中、1日は外来での実習を行い、継続看護、在宅支援などを理解する。</li> <li>10.日々の学びを共有するとともに、次の日の課題とそれを解決するための方策をグループで話し合う。(1～8日目)</li> <li>11.学びの共有と実践の振り返りのため、全体カンファレンスを行う。(10日目)</li> <li>12.実習目標の達成度を確認、今後の学習の課題を明らかにする。(10日目)</li> </ol>			

科目名	成育看護実習Ⅱ(小児)	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	内 正子、菅野 由美子、原口 梨那		
<p>[ 成績評価方法 ] 実習到達度(70%)、レポート(20%)、実習態度(10%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] 実習達成度に関して、面談を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-1/(プロフェッショナリズム)生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的な人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-2/(科学的根拠に基づいた課題対応能力)人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-3/(人が病むことへの関心と理解)生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-1/(人間性の涵養)多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-2/(看護の表現力)自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-3/(倫理の実践と道徳的態度)看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-1/(社会参加)社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していく。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-2/(協働・協力)保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していく。 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:実習目標の達成度、実習レポート</p> <p>[ 教科書 (ISBN) ] 実習要項 小児看護関連の既習科目の教科書 著者名:小児看護分野 出版社:小野高速印刷</p> <p>[ 参考書 (ISBN) ] 適宜配布</p>			